

実践⑮ おはなしグループ紙ふうせん(霧島市)

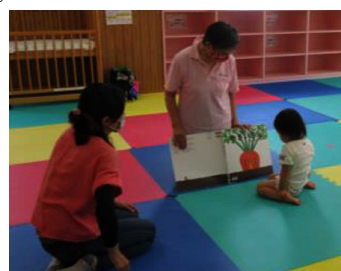
おはなしグループ紙ふうせんは、平成5年9月に発足した霧島市の読書グループです。子供たちにたくさんのお話を届け、読書への関心を育てることを目的に、霧島市の霧島地域を中心に、わらべうたや読み聞かせを子供たちに届ける活動をしています。

毎月第4水曜日に霧島公民館に集まり、情報交換や打合せをします。その後、わらべうたや読み聞かせなどを練習します。また、パネルシアター製作や地域に伝わるお話の紙芝居製作もしています。



毎月第3月曜日には、霧島公民館でおはなしの時間を行い、地域の子供たちに読み聞かせやわらべうたを楽しんでもらいます。

出前お話会では、霧島市こどもセンターで未就学児とわらべうたや布遊び、大型絵本の読み聞かせで一緒に楽しめます。幼稚園では、わらべうたや手遊び、体を動かす遊び、読み聞かせ、パネルシアターなど、体全体を使って楽しさを味わってもらいます。小学校では、以下の内容で45分間のお話会をしました。



- ・さつまたまりうた(わらべうた)
- ・いもいもいも(わらべうた)
- ・霧島七不思議 夜中の神楽(大型紙芝居)
両度川 (大型紙芝居)
- ・きりなしうた(詩集「おーいぼぼんた」より)
- ・ぼくのおべんとう、わたしのおべんとう(パネルシアター)
- ・いちもんめのいすけさん(わらべうた)
- ・天の火をぬすんだうさぎ(ブラックシアター)
- ・さよならあんころもち(わらべうた)



霧島は「神話の里」と呼ばれるように、昔から伝わる話がたくさんあります。私たちはその話を子供たちに分かりやすく伝えるため、大型紙芝居として製作しています。製作をとおして、あらためて自分たちの地域のすばらしさを見直すことができます。

これからも、お話を届けることで子供たちがお話の楽しさや自分の郷土のすばらしさを感じることができるよう、自分たちも楽しみながら続けていきたいと思ひます。



(掲載した写真は令和元年度以前のものです。)